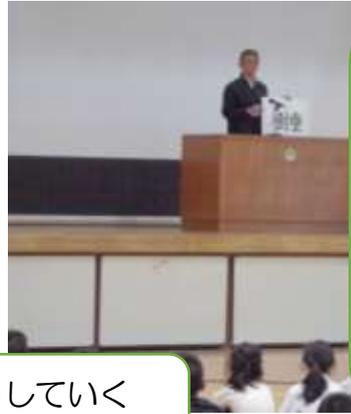


命の大切さについて考える日

5月10日「命の大切さについて考える日」に四季が丘小学校では全校朝会を行いました。まず校長先生の話、次に先生方全員による詩の朗読を聞きました。そしてこの後は各学級で道徳の学習で命の大切さについて考えます。



一人一人の名前にはおうちの人の願いが込められている。大切な一人一人なんだ。だからその大切な誰かをいじめたり仲間外れにしたりすることは絶対に許さない。みんなが大切にされる学校にしよう。

みんな真剣に話を聞いています。自分はどうしていくかということを考えてくれているのだと思います。



先生全員による詩の朗読です。～昭和女子大学 押谷先生の『むなしさのみ心にささるいじめかな』～



大切なことは「学んだこと、感じたことを、自分はどう行動化していくか」ということです！